

学びの多様化学校 解説資料

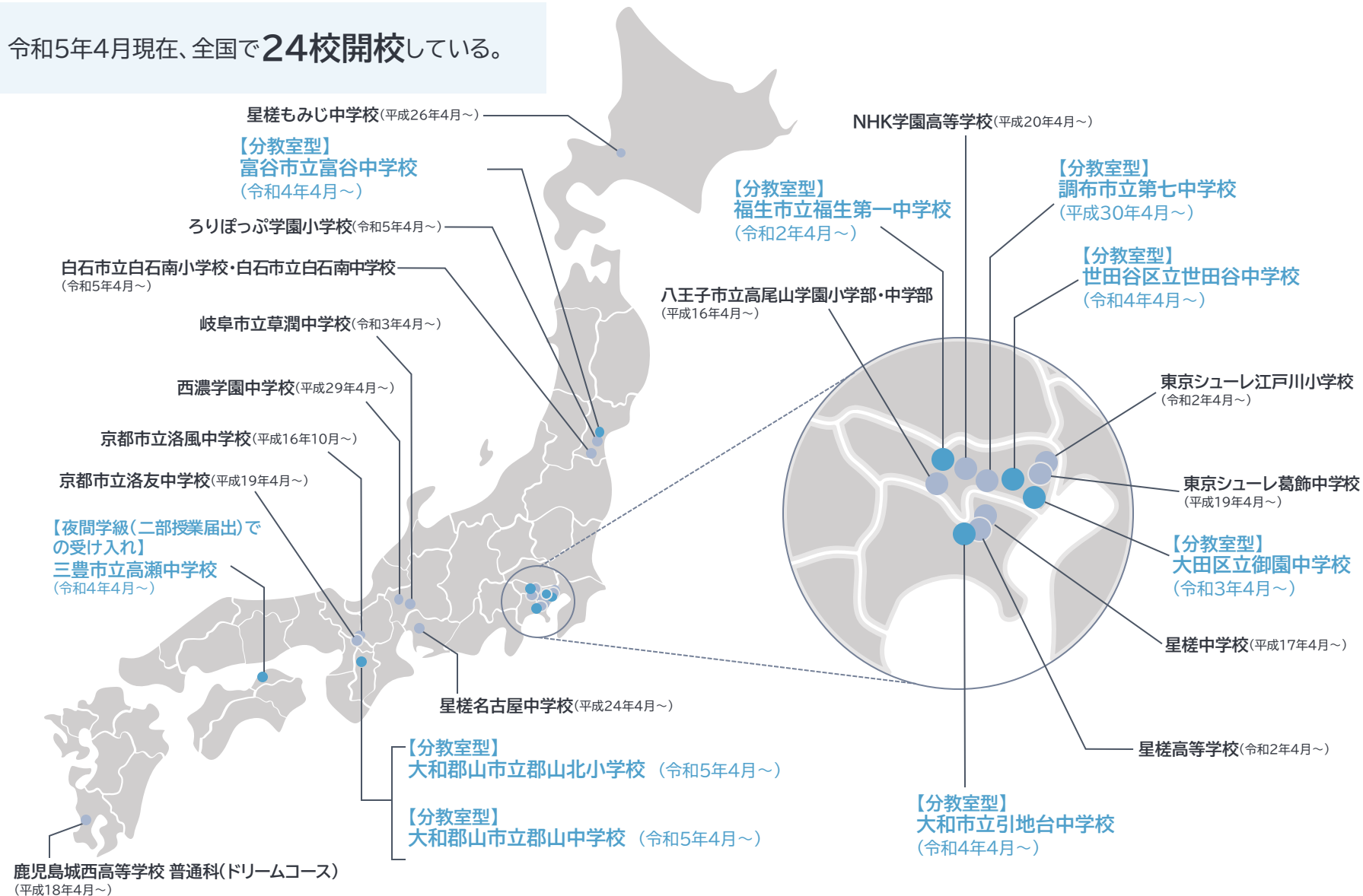


目次

- 01 設置状況・学校一覧表
- 02 学校型以外の学びの多様化学校(分教室型等)
- 03 入学・入室までの流れ(例)
- 04 申請手続きの流れ
- 05 提出書類
- 06 特別な教育課程について
 - ① 特別な教育課程とは
 - ② 特別な教育課程の編成の流れ
 - ③ 特別な教育課程の編成の考え方(時数の削減なし)
 - ④ 特別な教育課程の編成の考え方(時数の削減あり)
- 07 学校紹介

設置状況

令和5年4月現在、全国で**24校**開校している。



学校一覧表

	学校名	開校時期	管理機関	所在地	事業の概要
1	八王子市立高尾山学園 小学部・中学部	平成16年4月	八王子市教育委員会	東京都八王子市	不登校児童生徒のための市立小中一貫校。学年を超えた習熟度別ステップ学習や小学校1・2年次における「総合的な学習の時間」の導入、多様な体験活動などを行う。
2	京都市立洛風中学校	平成16年10月	京都市教育委員会	京都府京都市	不登校生徒のための市立中学校。実社会と直結した実践的な体験活動や京都の特性を活かした文化・芸術・ものづくり活動などを行う。
3	星槎中学校	平成17年4月	学校法人国際学園	神奈川県横浜市	不登校生徒に対し、個別指導計画を作成し、習熟度別クラス編成や体験学習等の導入を行うとともに、授業時数を増やして指導を行う。
4	鹿児島城西高等学校 普通科(ドリームコース)	平成18年4月	学校法人日章学園	鹿児島県日章市	「産業社会と人間」、「進路研究(自己理解)」等を学校設定科目として設け、不登校状態がそれぞれ異なる個々の生徒に、きめ細かな指導と弾力性を持った教育を提供する。
5	東京シューレ葛飾中学校	平成19年4月	学校法人東京シューレ学園	東京都葛飾区	道徳及び特別活動の時間を統合した「コミュニケーションタイム」を新設し、話し合い、共に協力しあいながら、自分達のやりたいことを実現していく方法等を学ばせる。
6	京都市立洛友中学校	平成19年4月	京都市教育委員会	京都府京都市	学齢超過の義務教育未修了者を対象とする二部学級を設置する中学校。二部学級の生徒とのふれあい等を通して、学習意欲向上と集団への適応を目指す。
7	NHK学園高等学校	平成20年4月	学校法人日本放送協会学園	東京都国立市	「生活実習」や「職業技術科目」等により、実習・体験型の学習による達成経験の積み重ねなどを通じて、生徒の社会性や自立性の育成、活動意欲や学習意欲の向上を促す。
8	星槎名古屋中学校	平成24年4月	学校法人国際学園	愛知県名古屋市中区	「基礎学力」及び「社会に適応する能力」向上を目指した特別な教育課程を編成し、指導を行う。また、生徒の興味や関心、適性をふまえた学習意欲を高めるための指導を充実するために特別な教育課程を編成し、指導を行う。
9	星槎もみじ中学校	平成26年4月	学校法人国際学園	北海道札幌市	「ベーシック」及び「ソーシャルスキルトレーニング」を教育課程に位置付け、個々の生徒の学習の到達度に合わせた指導を行うとともに、人間関係の構築に必要なスキルを重点的に指導することにより、「基礎学力」及び「社会に適応する能力」の向上を目指す。
10	西濃学園中学校	平成29年4月	学校法人西濃学園	岐阜県揖斐郡	「コラボレイト」を新しく教育課程に位置付け、国語、社会及び総合的な学習の時間を融合した授業を実施する。寮を持つ学校であり、学習及び生活指導を一貫して行う。
11	調布市立第七中学校 はしうち教室	平成30年4月	調布市教育委員会	東京都調布市	体験活動等で考えたこと等を、各教科で身に付けたい力を活用し生徒の得意とする手法で独創的に表現する「表現科」や、不登校による未学習部分を補うため、一人一人の状況に合わせ学習を行う「個別学習」の時間等を教育課程に位置付けている。
12	東京シューレ江戸川小学校	令和2年4月	学校法人東京シューレ学園	東京都江戸川区	「いろいろタイム」を教科として新設し、自然体験や文化体験等の体験活動を通じて、児童の学習意欲の向上や自主性・創造性・社会性の育成を目指す。

	学校名	開校時期	管理機関	所在地	事業の概要
13	岐阜市立草潤中学校	令和3年4月	岐阜市教育委員会	岐阜県岐阜市	「セルフデザイン」を教科として新設し、音楽、美術、技術・家庭科において各自テーマを設定して発展的な学習を行い、生徒の個性を伸ばしつつ自己肯定感の育成を目指す。
14	福生市立福生第一中学校	令和2年4月	福生市教育委員会	東京都福生市	「プロジェクト学習」を教科として新設し、各教科を横断的・合科的に扱い、自分が興味を持ったことについて自ら探究し、自分なりの答えにたどり着くことにより、探究し続けられる力や自発的に行動する力の育成を目指す。
15	星槎高等学校	令和2年4月指定	学校法人国際学園	神奈川県横浜市	「個別の学習支援計画」を作成し、一人一人の特性に応じた支援を行うとともに、学校設定教科「星槎の時間」「SST」「労作」を設定し、社会で活躍する基礎力の養成を目指す。
16	大田区立御園中学校	令和3年4月	大田区教育委員会	東京都大田区	「キャリア教育」を新設し、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成を目指す。
17	宮城県富谷市立富谷中学校	令和4年4月	富谷市教育委員会	宮城県富谷市	生徒が自らのテーマを設定し、探究的な学習ができるよう総合的な学習の時間の充実を図っている。自分で興味ある分野を追究させることで、達成感を味わわせ、自己肯定感の醸成を図る。
18	大和市立引地台中学校	令和4年4月	大和市教育委員会	神奈川県大和市	「教養科」を教科として新設し、各教科等を横断的に取り扱った学習内容や、体験的な学習を多く取り入れ、幅広い教養を身に付け、生徒が将来に向けての社会的自立につなげるための資質・能力を育成する。
19	三豊市立高瀬中学校	令和4年4月	三豊市教育委員会	香川県三豊市	夜間学級で異なる年代の生徒や外国籍生徒と一緒に学び交流する時間や個別学習の時間を設けることで、社会的に自立できることを目指す。
20	世田谷区立世田谷中学校	令和4年4月	世田谷区教育委員会	東京都世田谷区	「キャリアデザイン学習」を教科として新設し、生徒それぞれの得意な分野や好きな分野について学びを深めるとともに、協働的な学びを通じて、個性の伸長と探究心の充実、コミュニケーション能力の育成、幅広い視野等の育成を目指す。
21	白石市立白石南小学校・白石市立白石南中学校	令和5年4月	白石市教育委員会	宮城県白石市	個々の「学び残り」や「つまづき」を重点的に指導する「白石タイム」による学びの保証や、自らの得意や興味・関心に基づいて課題を設定し、探究的に学ぶ「夢スタジオ」を教科として新設し、学習に対する意欲を高めるとともに、社会性の育成・向上を目指す。
22	大和郡山市立郡山北小学校分教室「ASU」	令和5年4月	大和郡山市教育委員会	奈良県大和郡山市	不登校児童生徒の学習の場として、学科指導を行う「ASU」を設置し、学年を超えた習熟度別指導、児童生徒の興味・関心に応じた多様な体験活動などを行う。
23	大和郡山市立郡山中学校分教室「ASU」	令和5年4月	大和郡山市教育委員会	奈良県大和郡山市	不登校児童生徒の学習の場として、学科指導を行う「ASU」を設置し、学年を超えた習熟度別指導、児童生徒の興味・関心に応じた多様な体験活動などを行う。
24	ろりぽっが学園小学校	令和5年4月	学校法人ろりぽっが学園	宮城県仙台市	一人一人の学習進度に合わせた学習を行う時間を充実させつつ、協働的な学びの時間を確保することで、個別最適化した学びを提供しつつ、コミュニケーション能力の向上を目指す。

学校型以外の学びの多様化学校(分教室型)

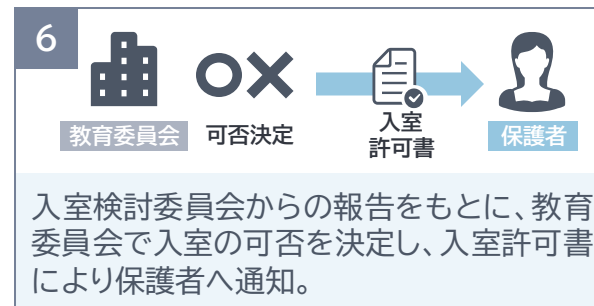
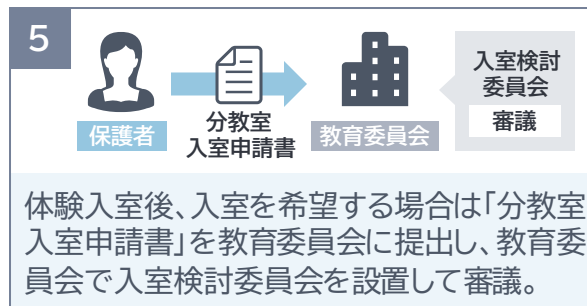
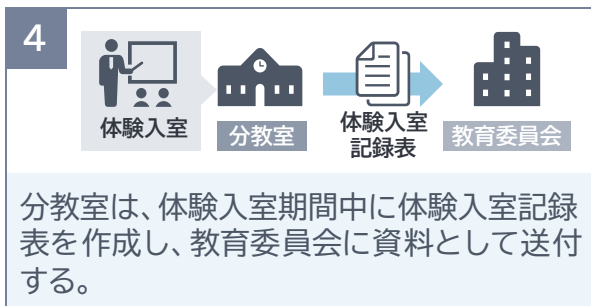
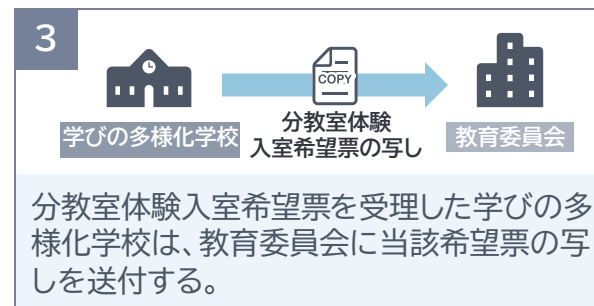
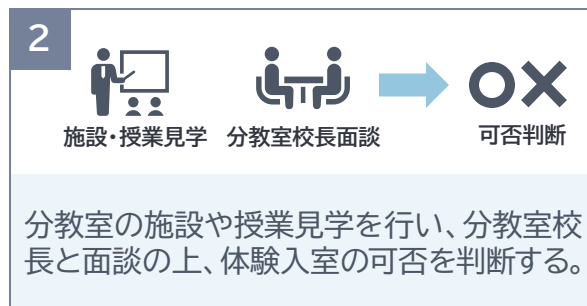
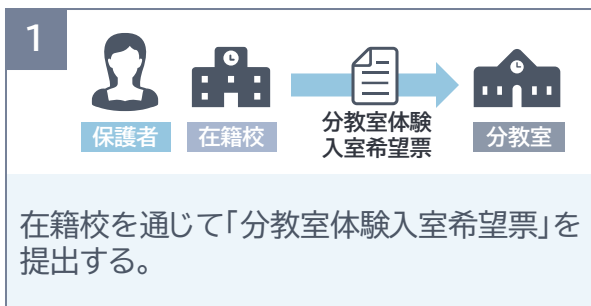
学校型以外の学びの多様化学校(分教室)とは

一般の小・中学校を母体とする本校をもち、一部の学級のみを学びの多様化学校として指定する。

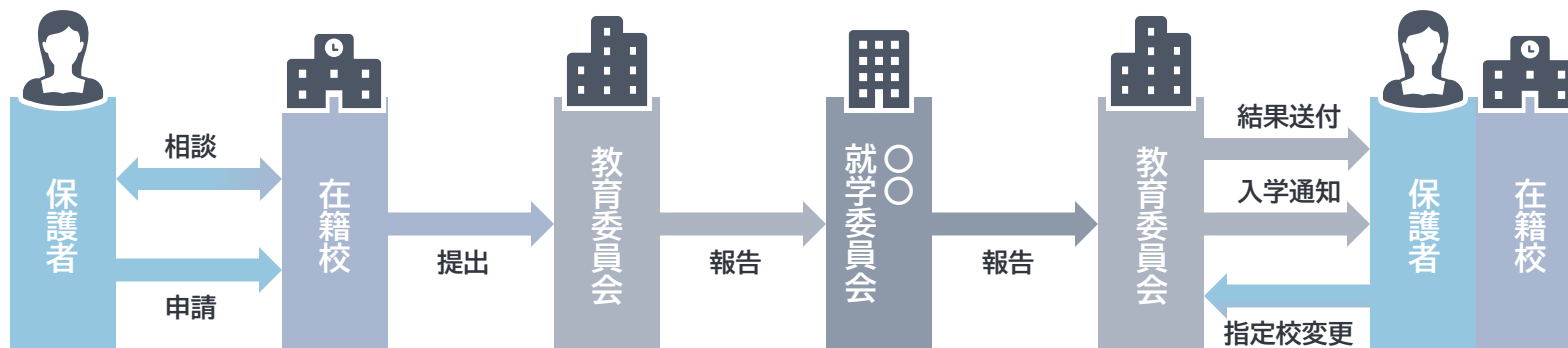
学校名	設置場所
東京都調布市立第七中学校 はしうち教室	市民大町スポーツ施設内
東京都福生市立福生第一中学校 7組	市民会館さくら会館2階
東京都大田区立御園中学校 みらい学園	旧池上図書館を全面改修
宮城県富谷市立富谷中学校 西成田教室	西成田コミュニティセンター内
神奈川県大和市立引地台中学校分教室	大和市立柳橋小学校敷地内
香川県三豊市立高瀬中学校(夜間学級)	三豊市立高瀬中学校内
東京都世田谷区立世田谷中学校 ねいろ	教育センター(教育会館)2階
奈良県大和郡山市立郡山北小学校 分教室「ASU(あす)」	同市植槻町にあった旧法務局の建物 (市が全面改装。平屋建て、約280平方メートル)
奈良県大和郡山市立郡山中学校 分教室「ASU(あす)」	

入学・入室までの流れ(例)

例1



例2



申請手続きの流れ

学びの多様化学校の指定の流れ

ステップ1



文部科学省HPを確認

以下は、「本手引き」「申請様式」等が掲載されているページのURLです。まずはそちらをご確認ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1387008.htm

文部科学省へ連絡

原則、開校予定の1年前を目途に御連絡ください。

ご来省いただいで対面で打合せやオンラインでの打合せ等、必要に応じ協議する場を設けることも可能です。

※学びの多様化学校の有識者から指導・助言を受けることを希望する場合は、「**学びの多様化学校マイスター制度**」を活用いただくことが可能です。

※公立の学びの多様化学校を設置する場合、通常の学校設置に係る補助に加えて、文部科学省の補助事業「**学びの多様化学校設置促進事業**」を活用いただける可能性があります。

※私立の学びの多様化学校を設置する場合、一般の学校設置と同様に私学助成を活用いただける可能性があります。

ステップ2



申請書類の提出

ご提出いただく書類は文部科学省HPに掲載しています。ステップ1にてお示しているURLからダウンロードしてください。書類の作成にあたり、ご不明点等ございましたらご相談ください。

ステップ3



審査

ご提出いただいた書類を基に審査を行います。記載内容を確認するとともに

必要に応じて追記や修正依頼をさせていただきます。教育課程の編成についての申請内容は、文部科学省内の関係課とも連携

ステップ4



指定通知送付

審査が完了後、文部科学大臣指定の学びの多様化学校として、「指定書」(指定を受けた学校に対して)及び「指定通知」(管理機関に対して)をお送りします。

ステップ5



公立の設置

事前準備から設置届出まで

自治体内での検討 (学校コンセプト)

- 学校型、分校型、分教室型の検討
- 敷地の確保
- 開校予定年度
- 特別の教育課程の編成
- 補助事業等の活用の有無等

都道府県への情報共有

対外発信

プレスリリース及び保護者や児童生徒への広報活動の開始

議会対応

開校前年(自治体により異なる。)の議会において、市の学校設置条例の変更を行う。

プレオープン

人事配置

開校年の1月～2月にかけて、都道府県と教員定数に関する調整

設置の届出

文科省の指定を受け、都道府県に設置の届出

※上記のスケジュールについては、あくまで一例であることに留意してください。

私立の設置(都道府県との調整事項)

設置認可相談から認可書の交付まで

都道府県に相談

- 学びの多様化学校の設置の意向
- 開校予定年度
- 敷地の確保
- 学校種
- 学校設置に関する手続き全般 等

学校設置認可申請書提出

諸官庁の調査

多くの場合、書類審査及び現地調査があります。

私学審議会に諮問

開校の前年度より前の自治体もあります。

中間答申

学校設置計画承認・不承認通知

都道府県によって時期は異なります。

本答申

認可書交付

プレオープンや内定後の対外発信等

※上記のスケジュールについては、都道府県ごとに異なるので、詳細については設置を検討している自治体を所管する都道府県までご相談ください。

提出書類

必須書類

①指定申請書 ②同意書 ③実施計画書 ④特別な教育課程の編成に関する資料

場合によって追加

・建物の外観写真 ・ 時間割表 ・ 周辺地域の地図 ・ 施設設計図 等

※不登校児童生徒への配慮に係る懸念等があった場合に、その説明として提出を求めるものです。

①指定申請書

文部科学大臣 殿

管理機関名

指 定 申 請 書

療養等による長期欠席生徒等を対象とした特別の教育課程の編成を、別紙実施計画書の
とおり、下記の学校において行いたいので、当該学校の同意書を添えて申請します。

記

学 校 名

校 長 名

所 在 地

②同意書

別記様式2-1 (A4 たて型 横書き)

年 月 日

学 校 名

校 長 名

同 意 書

本校において、別紙実施計画書のとおり、不登校児童生徒等の実態に配慮した特別の教
育課程を編成することに同意します。

大臣指定の決裁で必要になるものですので、すぐにご提出いただく必要はありません。

提出書類

③実施計画書

別紙1	
実施計画書	
1 学校名	<input type="text"/>
2 児童生徒数（学年ごとに記入。提出の際に学校が設置されていない場合は予定。）	<input type="text"/>
3 対象となる児童生徒（どのような不登校児童生徒等又は療養等による長期欠席生徒等を対象とするのか、できる限り具体的に記入すること。また、4（5）の特例を実施する場合等においては、不登校状態又は療養等による長期欠席状態の判断基準をできる限り具体的に記入すること。）	<input type="text"/>
4 教育課程の内容 （1）教育課程の基準の特例の概要	<input type="text"/>

④特別な教育課程の編成に関する資料

【特別な教育課程の編成に関する資料】	
管理機関名： <input type="text"/>	
学校名： <input type="text"/>	
I. 特別な教育課程を編成する理由を選択してください。（複数選択可）	
<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の通学配慮のため	
<input type="checkbox"/> 体験活動等独自の活動の充実のため	
<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の授業に関する負担軽減のため	
<input type="checkbox"/> 習熟別や自分のペースでの学習を充実させるため	
<input type="checkbox"/> その他不登校児童生徒の実態に応じた配慮をするため	
（どのような配慮のためか記載してください。）※必要に応じて行の高さは調節してください。	
II. 特別の教育課程の内容について	
※以下の項目について、要件を満たしていることを確認し、チェックを付してください。	
<input type="checkbox"/> 対象となる不登校児童生徒の実態に鑑みた場合、特別な教育課程を編成することが、当該不登校児童生徒の教育機会を確保する上で不可欠である。	
<input type="checkbox"/> 特別の教育課程を編成したことによって、 <u>特例校ではない学校に通う他の児童生徒と比較して学習内容や体験内容に差異が生じたり、学習理解に支障を来したりすることのないよう工夫が講じられている。</u>	
<input type="checkbox"/> 不登校特例校における教育を行う上で、児童生徒に対する <u>必要な支援が行える体制整備等（スクールカウンセラー等支援スタッフの配置、不登校児童生徒が安心して学べる環境の整備等）</u> が行われている。	
<input type="checkbox"/> 児童生徒の発達の段階並びに各教科等の特性に応じた配慮がなされている。	

審査は主にこれらを基に行うため、最初にご提出いただきたいものになります。
審査の過程で、書類の内容に関する質問や確認、追記・修正依頼をさせていただきます。

特別な教育課程とは

特別な教育課程は、当該学校に通う児童生徒の社会的自立に向けて、その実態や地域性等、様々な状況を鑑みて検討されるものであり、一概に決まっているものではないが、主に以下のようなパターンが考えられる。

※根拠法及び詳細は、「手引き」参照。

※分教室型であっても、特別な教育課程の編成に関して、学校型と異なるのものではない。

- ✓ 不登校児童生徒にとって望ましい教育を行う上で、必要な特例である。
- ✓ 不登校児童生徒であっても、学習指導要領に基づく教育課程に沿って学習するべきものであり、原則として、教育内容や総授業時間数等の削減は行うべきではないが、何らかの削減を行わなければ、不登校児童生徒の教育環境を保障することが困難であると考えられるなどの特別な理由がある。



小学校における 教科の新設

【例】
学習指導要領にない、
特色ある教科を新設
する。

※中学校・高等学校にお
いては教科の新設が学
習指導要領で認められ
ている。

授業時数の 組み替え

【例】
A教科を削減し、
削減分をB教科に
補填する。

指導内容の 異学年への移行

【例】
第1学年及び第2学年
のA教科の学習内容
の一部を第3学年へ
移行する。

総授業時数の削減

【例】
年間の総事業時数を
1,015時間から800
時間に削減する。

1時間当たりの 授業時間の短縮

【例】
1時間当たりの授業
時間を、50分から45
分にする。
1限目だけ30分間とす
る。

削減した学習内容について、
学校教育法又は学習指導要領に示す主旨やねらい・目的を
達成するために、工夫が必要。

特別な教育課程の編成の流れ(例)

目的



① 当該学校に通う不登校児童生徒にどのような力を付けるべきか

- 自分の長所や得意なことを見つけ、自己を肯定し自信をもって生きていく力。
- 友達や地域と関わったり、他者と協力することに意義を感じ、社会の中の自分を見つめる力。等

手立て



② 目的を達成するためにどのような手立てを行うか

- 自分の興味や関心、得意とする分野等のテーマについて探究的に学習する時間を中心に教育活動を行う。
⇒新設の教科を設定する。
- 友達や地域の住民等、他者と関わりながら試行錯誤を重ね、協力して目的の達成を目指す経験を増やす。
⇒学校行事を教育課程の中心とし、総合的な学習の時間を増やす。

配慮



③ 不登校児童生徒が通いやすい学校にするため、どのような配慮を行うのか

- それぞれの進度、手法で学習を進めるため、「国・数・理・社・外」の5教科については個別学習を基本とし、安心して学ぶことができる環境を整える。
- 1時間当たりの授業時間を5分減らし、50分から45分にする。
- 登校時間を遅らせるために、午前中の授業時数を3時間とする。等

工夫



④ ②や③のため削減した内容をどのように補うのか

- 教科横断的な学習を実施する新設の教科を設定し、その中で補う。
- 放課後にだれでも利用できるサポートスペースを設けて、授業時間内に終わらなかった内容を補う。
- 家庭学習や長期休み中の課題の中で補う。

特別な教育課程の考え方(例1)

国語、算数を各40時間、計80時間削減する。新設の教科「こつこつ」を年間80時間設定し、漢字や計算等の基礎・基本的な内容について個人のペースで学習する。

標準	国語 140	算数 140		
特例	国語 100	算数 100	こつこつ 80	
	国語	算数	こつこつ	合計
標準	140	140		280
特例	100	100	80	280

教科の新設

授業時数の
組み替え

指導内容の
異学年への移行

総授業時数の
削減

1時間当たりの
授業時間の短縮

国語、社会から計80時間削減し、総合を80時間追加する。総合の時間では、得意なことや興味・関心のあること、得意分野等に基づく計画を自分で立てて教科横断的・探究的な学習を進める。

標準	国語 140	社会 105	総合 50	
特例	国語 100	社会 65	総合 130	
	国語	社会	総合	合計
標準	140	105	50	295
特例	100	65	130	295

審査の観点

- ① 学習指導要領等において全ての児童又は生徒に履修させる内容として定められている内容事項が、特別の教育課程においても適切に取り扱われていること。
- ② 総授業時数が確保されていること。
- ③ 児童生徒の発達段階並びに各教科等の特性に応じた内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
- ④ (義務教育段階の場合のみ) 保護者への経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点から適切な配慮がなされていること。
- ⑤ 児童又は生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。

特別な教育課程の考え方(例2)

国語から20時間、数学から20時間、社会から20時間、理科から20時間削減する。
基礎・基本的な内容を扱う時間は個人学習とし、一人一人の学習到達度に合わせた教材やタブレット端末等を活用しながら効率的に学習を進めることで時数の削減を行う。
昼休みと放課後に個別学習スペースを設け、授業時間内に到達できなかった内容や、さらに学習を深めたい生徒に対応する。

標準 330時間	国語 140	数学 105	社会 140	理科 105		
特例 410時間	国語 120	数学 85	社会 120	理科 85	削減 80	
		国語	数学	社会	理科	合計
標準		140	105	140	105	490
特例		120	85	120	85	410

教科の新設

授業時数の
組み替え

指導内容の
異学年への移行

総授業時数の
削減

1時間当たりの
授業時間の短縮

国語から20時間、社会から30時間、総合の全50時間、特活の全30時間を削減し、新設の教科「プロジェクト」を年間70時間設定する。
プロジェクトで調査研究やイベントの企画・立案等を国語や社会の学習内容とも関連付けながら、生徒が主体となって学習を進める形で計画的に進める。

標準 330時間	国語 140	社会 100	総合 50	特別活動 30		
特例 260時間	国語 120	社会 70	プロジェクト 70		削減 70	
	国語	社会	総合	特別活動	新設	合計
標準	140	100	50	30		320
特例	120	70	0	0	70	260

審査の観点

- ① 対象となる不登校児童生徒の実態に鑑みた場合、教育内容や総授業時間数の削減を行うことが、当該不登校児童生徒の教育機会を確保する上で不可欠であるといえること。
- ② 教育内容や総授業時間数を削減したことによって、学びの多様化学校ではない学校に通う他の児童生徒と比較して学習内容や体験内容に差異が生じたり、学習理解に支障を来したりすることのないよう工夫が講じられていること。
- ③ 当該教育課程を受けることを想定している子供たちを選考するための工夫(受験等に対応するために総授業時間数の少ない学校に通いたい等の不適切な動機を持つ児童生徒を入学させないための工夫)が講じられていること。
- ④ 必要な体制整備等(人的配置等)が行われていること。
- ⑤ 児童生徒の発達段階並びに各教科等の特性に応じた内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
- ⑥ (義務教育段階の場合のみ) 保護者への経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点から適切な配慮がなされていること。
- ⑦ 児童生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。

小中一貫校 白石市立白石南小学校・白石南中学校(通称:白石きぼう学園)(宮城県)

学校概要

管理機関	白石市教育委員会
所在地	宮城県白石市 (旧白石市立南中学校を再利用)
開校時期	令和5年4月



特別な教育課程の概要

- 総授業時数は、小4～中3を約14%、小3は約11%、小2は約4%削減している。
- 新設の教科「白石タイム」を小2以上で週4時間設定(小2は週3時間)。一人一人の状況に合わせた学び直しの時間として、未学習や苦手内容に対応。
- 「夢スタジオ」の時間(総合的な学習の時間内に位置づけ)を週3時間設定し、得意なことや興味・関心に基づき自分のテーマに基づく探究的な学習を行う。また、体験活動の機会を充実させ、体験不足からなる自信欠如の回復やコミュニケーション能力の醸成、子どもたちの思いを取り入れた行事(校外学習・食を通じた交流)、子どもたちの企画立案によるイベントを開催。



在籍対象者	学級編成	小学校 第5学年 … 1クラス 中学校 第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	小学校 第5学年 … 2人 中学校 第1学年 … 5人 第2学年 … 5人 第3学年 … 7人 ※令和5年4月1日時点

不登校生徒等の実態に配慮した工夫

- 通いやすい登下校時刻を設定
- 1人1台端末のAIドリル等を活用した学習機会の保障
- 地域人材を活用した学校行事や「夢スタジオ」等で他者との関わり・コミュニケーション能力の醸成
- 規則正しい生活習慣のため、保護者と連携した家庭での過ごし方講座の開催(スクールカウンセラー等の活用)
- ゲーム・スマホ依存症防止のために、子ども同士でルールを話し合う場や親子研修会、専門機関からの外部講師を依頼した授業設定
- 養護教諭による定期的な保健指導による、心と体づくり、感情のコントロールを目指す時間の確保と実施

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 14人
(校長、小学校教頭、中学校教頭、教諭5人、講師4人、養護教諭、主事)
- スクールカウンセラー … 1人
(年間35日、1日6時間)
- 会計年度任用職員 … 4人
(指導支援員3人(週5日、8時間)、業務員1人(週5日、1日7時間))

八王子市立高尾山学園(東京都)

学校概要

管理機関	八王子市教育委員会
所在地	東京都八王子市館町 1097-30
開校時期	平成16年4月



特別な教育課程の概要

- 総時数750時間程度に行事等(70～85時間程度)を含めると、通常の教育課程に比べ約2割削減
- 全学年(小4～中3)の総合的な学習において、「講座学習」として教科にとらわれない個々の関心・意欲に応じた体験的な授業内容(スポーツ系・文化系・ものづくり系等)を週4時間設定。
- 「学園四季祭」として、社会体験・自然体験・生活体験を中心とした校外を含めた体験学習を年4回実施する他、地域交流学習や職業体験などを実施。
- 中学2・3年生は、個別学習のB(Basic)コースと一斉授業で学ぶC(Challenge)コースから、自分に合った学び方を選択できるコース選択制。
- 社会において人とかかわる力の基礎を養うために、ソーシャルスキルトレーニングの手法を活用したSSP(ソーシャルスキルアップトレーニング)を実施。



在籍対象者

学級編成

小学部	第4・5学年… 1クラス
	第6学年 … 1クラス
中学部	第1学年 … 1クラス
	第2学年 … 1(2)クラス
	第3学年 … 1(3)クラス

※()内数字は少人数指導での学級数

在籍者数

小学部	第4・5学年… 3人
	第6学年 … 1人
中学部	第1学年 … 12人
	第2学年 … 23人
	第3学年 … 28人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等の実態に配慮した工夫

- 高尾山学園を目指す児童・生徒がはじめに通う場として、市教委が運営する適応指導教室「やまゆり」が校内に設置されており、高尾山学園へのゆるやかな転学を支援している。
- 定員は設けず、やまゆりへの通級体験を通して転学への準備状態が整った者から毎月転入できるしくみとし、個々の児童生徒のペースで転入学が可能な体制を取っている。
- 授業に参加する気持ちが整っていない時には、教室以外の居場所である「プレイルーム」や「相談室」、「保健室」で、いつでも支援が受けられる体制を取っている。
- スクールソーシャルワーカーや心理相談員を配置した市教委所管の登校支援室を学園内に設置し、連携した支援体制を取っている。
- 発達特性から対人関係やコミュニケーションなどに困難を抱えている児童生徒が利用できる特別支援教室(きよたき)が設置されており、個々の特性に応じた指導・支援を行っている。

教職員配置状況

● 校長 … 1名	● 非常勤教諭 … 1名	● 指導補助員 … 8名
● 副校長 … 2名	● SC … 2名	● プレイルーム指導員 … 1名
● 教諭 … 17名	● 特別支援専門員 … 2名	● プレイルーム指導補助員 … 3名
● 養護教諭 … 2名	● 専任教諭 … 4名	● スクールサポートスタッフ … 2名

岐阜市立草潤中学校(岐阜県)

学校概要

管理機関	岐阜市教育委員会
所在地	岐阜市金宝町4丁目1番地
開校時期	令和3年4月



特別な教育課程の概要

- 各学年の総授業時数を770時間とする。
- 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、外国語、道徳、特別活動を削減し、「セルフデザイン」及び「ウォームアップ・クールダウン」という特別の教科領域を設置する。
- 生徒の個性を伸ばしつつ自己肯定感育成を目指す制作学習「セルフデザイン」
- よりよい生活の仕方やセルフコントロールスキルの育成を目指す「ウォームアップ・クールダウン」



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 10人 第2学年 … 11人 第3学年 … 19人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 市内全域から通学してくる生徒の登下校の時間を考慮した、登校時刻及び下校時刻の設定
- 生徒自身で学習内容や学習場所を選択できるなど、個別最適化を図る学び
- 生徒の学習進度に合わせて、タブレットや様々な教材を活用した個別学習等の支援
- 地域人材を活用した学校行事や「産学ブース」等で、他者との関わりやコミュニケーション能力を育成
- 個別のカルテを作成し、生徒一人一人の状況に合わせた支援を全職員で実施
- 生徒が必要と感じたときに教職員と話し合いながらつくる学校行事

教職員配置状況

- 県費教職員 … 19名
(校長、教頭2名、主幹教諭、教諭12名、養護教諭、事務職員、スクールカウンセラー)
- 市費職員 … 8名
(常勤講師、校務員、ほほえみ相談員、ハートフルサポーター、学校司書、スクールサポートスタッフ、スクールカウンセラー、ALT)

京都市立洛風中学校(京都府)

学校概要

管理機関	京都市教育委員会
所在地	京都市中京区
開校時期	平成16年10月
本校	

特別な教育課程の概要

令和4年度時間割

		1	2	3A	3B
月	1	保体	保体	数学	科学
	2	国語	英語	科学	数学
	3	科学	数学	英語	国語
	4	英語	科学	保体	保体
	5	SH	SH	SH	SH
火	1	科学	国語	数学	英語
	2	創造	科学	英語	国語
	3	数学	創造	国語	数学
	4	風夢	風夢	風夢	風夢
	5	SH	SH	SH	SH
水	1	選択	選択	選択	選択
	2	国語	創造	英語	数学
	3	LH	LH	LH	LH
	4	創造	国語	数学	英語
	5	SH	SH	SH	SH
木	1	風夢	風夢	風夢	風夢
	2	英語	数学	国語	科学
	3	国語	英語	科学	創造
	4	数学	国語	創造	英語
	5	SH	SH	SH	SH
金	1	数学	英語	創造	国語
	2	LH	LH	LH	LH
	3	英語	数学	保体	保体
	4	保体	保体	国語	創造
	5	SH	SH	SH	SH

- 各学年770時間のゆとりのある授業時数。
- 新たな教科・時間①「科学の時間」②「創造工房」③「ヒューマン・タイム」※で社会、理科、美術、技術、家庭の教科や道徳、特別活動の時間の特性を活かした授業内容を実施
- ※①「科学の時間」…小・中学校の理科や社会で学ぶ知識や技能を大きく把握し、自然的・社会的現象や現象を学ぶ中で科学的な見方・考え方の基礎を養う
- ②「創造工房」…みる・きく・ふれる等の感覚を活用して様々な色・音・素材等と出会う体験活動をし、それらを活かして自己表現ができるようにする。
- ③「ヒューマン・タイム」…学校行事や学年の取組等を通して同じ目的をもって活動することで、仲間と交流を深める。



在籍対象者

学級編成	第1学年 … 1クラス
	第2学年 … 1クラス
在籍者数	第1学年 … 7人
	第2学年 … 18人
	第3学年 … 22人

※令和5年5月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 「朝の風」の時間では担当スタッフと一緒に1日の予定の確認と健康観察をし、コミュニケーションを取れるようにしている。
- 登校時間について、市内全域から登校してくるため時間に余裕をもたせると同時に、ラッシュ時間、地元学校の登校時間と重ならない時間設定(9時30分登校)としている。
- 全校生徒を4つに分けた縦割りグループで活動する時間を設け、学年を越えた縦の繋がりを大切にしている。またそのグループ担当のスタッフが中心となって生徒や家庭との連絡・相談窓口となっている。
- スクールカウンセラー3名、スクールソーシャルワーカー1名の配置により、生徒・保護者への細やかな支援、スタッフとの連携等教育相談体制が充実している。
- 教育課程は基礎・基本の定着を図るものとし、多様な体験学習を通して学ぶ意欲を高め、社会性を育むように計画している。


教職員配置状況

- 校長 … 1名
- 教頭 … 1名
- 教諭 … 10名
- 再任用 … 3名
- 常勤講師 … 2名
- 非常勤講師 … 2名
- 養護教員 … 1名
- 専門主事 … 1名
- 事務職員 … 1名



京都市立洛友中学校(京都府)

学校概要

管理機関	京都市教育委員会	
所在地	京都市下京区	
開校時期	平成19年4月	

特別な教育課程の概要

- 総授業時数を各学年770時間のゆとりのある授業時数。
- 学年単位を基本に総合育成支援員や学生ボランティアなどと共に、少人数で学習を行い、必要に応じて個々の生徒に適した学習内容で授業を進めている。
- 未学習等による学習空白を補いながら、安心して、すこやかに社会生活を過ごせるための基礎・基本の学習をしていく。
- 交流の時間は昼間部と夜間部合同で地域や外部の専門家を招いた茶道やストレッチ体操など、様々な取組を行う。

校時	13:30~ (10分)	1校時 (50分)	2校時 (50分)	3校時 (50分)	5校時 (30分)	6校時 (45分)
クラス	全学年別	1年・2年・3年	1年・2年・3年	1年・2年・3年	昼夜	昼夜
月	学活	道徳	国語 理科 数学	理科 数学 英語	英語 交流・総合	課外活動
火	学活	数学 社会 英語	社会 国語 美術	国語 英語 美術	美術	音/技家
水	学活	英語 数学 社会	社会 美術 数学	国語 英語 美術	英語 交流	課外活動
木	学活	理科 英語 数学	数学 国語 理科	理科 英語 社会	国語	美/保健
金	学活	数学 英語 社会	美術 数学 理科	美術 理科 国語	国語 交流・総合	課外活動

在籍対象者

学級編成	第1学年 … 1クラス
	第2学年 … 1クラス
在籍者数	第1学年 … 5人
	第2学年 … 4人
	第3学年 … 6人

※令和5年5月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 年間授業時数770時間を基本としており、ゆとりをもって学習に取り組むことができる。
- 授業を午後から開始し、午前中の登校が難しい生徒にも通いやすい時間割としている。
- 各教科の授業時数は削減しているが、不登校生徒にとっての創作活動を重視し、美術の時間を多く配分している。
- 昼間部と夜間部の併設を生かし、夜間部の様々な世代や国籍の生徒とふれあい学び合う活動を等特色のある取組を進めている。

教職員配置状況

- 校長 … 1名
- 教頭 … 1名
- 教諭 … 7名
- 講師 … 8名
- 常勤 … 4名
- 非常勤 … 4名
- 養護教員 … 1名
- 事務職員 … 1名
- 管理用務員 … 1名



富谷市立富谷中学校西成田教室(宮城県)

学校概要

管理機関	富谷市教育委員会
所在地	宮城県富谷市 (西成田コミュニティーセンター内に設置)
開校時期	令和4年4月
本校	宮城県富谷市立 富谷中学校



特別な教育課程の概要

- 8:50登校、15:30下校、午前3時間、午後3時間。
- 一コマ50分授業。
- 総授業時数の削減は行わない。
- 国語、社会、音楽、美術の授業時数の削減を行う。
- 第1学年から第3学年までの全ての学年において、総合的な学習の時間を105時間に設定し、総合的・横断的な学習を行う。
- 自然豊かな環境と、市民団体及び富谷ユネスコ協会の協力体制を強みに、ユネスコスクールとしてSDGsの達成を大きな目標として、生徒一人一人が掲げたテーマに対して、探究的な学習を進めるために総合的な学習の時間を多く設定する。



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 3人 第2学年 … 5人 第3学年 … 6人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 本校の富谷中学校から、音楽、美術、家庭などの教員が来校し実技教科の指導の充実を図っている。
- 市民団体及び富谷ユネスコ協会と連携し、ゲストティーチャー等の派遣を通して、SDGsの達成に向けた学習活動の推進を図っている。
- 市デマンド型交通を生徒用の送迎バスとして活用し、保護者の負担軽減を図っている。

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 5人
- 非常勤職員 … 1人
(週11時間)
- 会計年度任用職員 … 3人
(教育支援員2人、業務員1人(週5日、1日5.5時間))
- スクールカウンセラー … 1人
(年間35日、1日5時間)
- 本校との兼務教員 … 3人
(音楽、美術、家庭)

調布市立第七中学校はしうち教室(東京都)

学校概要

管理機関	調布市教育委員会
所在地	東京都調布市 (市民大町スポーツ施設内に設置)
開校時期	平成30年4月
本校	調布市立第七中学校



特別な教育課程の概要

- 各学年の総授業時数を910時間とする。
- 不登校期間等の差による既習内容の差が大きいことを想定し、国・社・数・理・外の5教科を削減する。
- 教科「個別学習」において個に応じた教科指導を行う。
- 教科「表現科」において、各教科で身に付けた力を教科等横断的に活用しながら、体験活動等を通して考えたことや感じたことを深めたり、表現したりする。
- 教科「コミュニケーションスキルトレーニング科」において、自己・他者理解、自己表現等、目標に沿った計画を系統的に立てて、コミュニケーションスキルの向上を目指す。



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 5人 第2学年 … 3人 第3学年 … 5人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 朝の時間のゆとりを考え、午前3単位時間、午後2単位時間とし、朝の学級活動を9時開始とする。
- リラックスして一日をスタートできるように、登校後毎日10分間、コミュニケーションスキルトレーニング(CST)の時間を設定する。
- 本校の学校行事に参加できる。
- 旧在籍校への転入ができる。
- 個別ファイルを作成し、生徒の変容や入室までの支援状況、関係機関との連携状況等を把握する。
- 進路指導支援として、進学先にカルテ票を渡したり、高等学校訪問や卒業生との懇談会を行ったりする。
- 分教室に来られなくなった生徒に対して、大学と連携して、話し相手や学習支援を行う学生「メンタルフレンド」を派遣する。

教職員配置状況

- 校長
- 副校長
(第七中学校と兼務)
- 正規教員 … 4名
- 非常勤教員 … 5名
- 会計年度任用職員SC … 1名
- 時間講師 … 3名

福生市立福生第一中学校7組(東京都)

学校概要

管理機関	福生市教育委員会
所在地	東京都福生市
開校時期	令和2年4月
本校	福生市立 福生第一中学校



特別な教育課程の概要

- 9:00登校、15:35下校
- 一コマ50分授業。
- 総授業時数は910時間。
- 朝の10分間、運動をするための「リフレッシュタイム」を設定している。
- 国語、社会、数学、理科、外国語の授業時数の削減を行う。
- 自分の興味・関心に基づき、自分なりの問いを立て、自分なりのやり方で、自分なりの答えにたどり着くことができる力を育むための「プロジェクト学習」を設定している。
- 一人一人の学習状況に応じた指導体制の充実を図り、不登校による未定着の内容を補う時間を確保するため、「個別学習」の時間を設定している。



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 3人 第2学年 … 5人 第3学年 … 6人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 外部講師を招聘した講演会等の充実を図り、様々な人との関わりの機会を設定している。
- 生活リズムの乱れによる疲労や精神的不安を和らげるため、和室の休憩スペースを用意している。
- 常時オンライン授業配信を行い、登校できなくても学習を進めることができるような環境を整備している。
- 学が意義を見だし、将来への見通しをもてるよう、進路指導を計画的に実施している。
- 集団で何かを作ることの楽しさを味わうため、季節ごとに大きな作品を制作している。

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 4人
- 非常勤職員 … 4人
(週4日)
- 本校との兼務教員 … 3人
(理科・技術・家庭)
- スクールカウンセラー … 1人
(週1日)



大田区立御園中学校みらい学園(東京都)

学校概要

管理機関	大田区教育委員会
所在地	東京都大田区 (旧池上図書館を全面改修)
開校時期	令和3年4月
本校	大田区立御園中学校



特別な教育課程の概要

- 各学年の年間総授業時数を980時間とする。
- 50分授業を午前3単位時間・午後2単位時間(1限～5限)、25分授業を午後1単位時間(6限)の6校時を基本とする。
- 新設科目「キャリア教育」では、中学校での学習と自分の将来とのつながりを意識することを目的とし、進路指導の充実を図る。職業調べや職場体験等の職業について知見を広げるだけでなく、社会と自分のつながりについて考える単元も設定するなど、年間指導計画を立てて3年間を通して継続して実施する。
- 「キャリア教育」の授業の中で、特別活動や総合的な学習の時間の内容も扱う。

時程表

登校	～9:00
朝活動	9:00～9:05
リフレッシュタイム (体育)	9:05～9:15
1校時	9:20～10:10
2校時	10:20～11:10
3校時	11:20～12:10
昼食・昼休み	12:10～12:55
4校時	13:00～13:50
5校時	14:00～14:50
個別学習	15:00～15:25
終学活	15:25～15:35
生徒下校時間 (月・火・木・金) 15:40 (水) 15:00 ※昼食は弁当等になります。	

在籍対象者

学級編成	第1学年 … 1クラス
	第2学年 … 1クラス
在籍者数	第1学年 … 6人
	第2学年 … 8人
	第3学年 … 9人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 本校の部活動に参加できる。
- 6月と11月に「心のサポート月間」において、学校生活調査や学級集団調査を実施し、生徒一人一人のストレス症状等を把握。結果を基に、スクールカウンセラーによる全員面接を行う。
- 教育支援センター「つばさ」池上教室等と連携し、オンライン授業の配信を行う。
- 転入学支援スペース「プレみらい」を併設し、運営員を配置。転入室の円滑化を図るとともに、分教室在籍の生徒のレスパイト(一時休息、柔軟な登校)の場としても活用する。

教職員配置状況

- 正規教員 … 3名
- 会計年度任用職員 … 6名
(教員4名 SC1名 養護教諭1名 事務1名)
- 時間講師 … 3名
- 本校との兼務 … 1名
- 分教室運営員 … 2名



世田谷区立世田谷中学校ねいろ(東京都)

学校概要

管理機関	世田谷区教育委員会
所在地	東京都世田谷区 (教育会館内2階に設置)
開校時期	令和4年4月
本校	世田谷区立世田谷中学校

教室は教育会館
(複合施設)の2階。
中央図書館と
プラネタリウム併設。



特別な教育課程の概要

- 総授業時数は、通常の教育課程の総授業時数(1015時間)から約1%削減し、1~3学年全て910時間で設定している。
- 新設の教科「キャリア・デザイン学習(探究の時間・表現の時間・体験の時間)」を設置し、体験活動や異学年交流を通じて、生き方や自己表現・自己理解などを深めていく。
- 「探究の時間」は、得意なことや興味関心の高いことについて主体的に学び、個性の伸長と探究心の充実を図る。「表現の時間」は、音楽・美術・技術家庭科の基礎的知識を身に付けながら、自己表現の力を育成する。「体験の時間」は、様々な体験活動や行事を通じて、多様な価値観を認め合う。
- ウォームアップ・クールダウンの時間では、一日の目標立てや振り返りを行い、SST等を通じたコミュニケーション能力の育成、道徳的価値観を高める活動を行っている。



在籍対象者

学級編成	第1学年 … 1クラス
	第2学年 … 1クラス
在籍者数	第1学年 … 9人
	第2学年 … 14人
	第3学年 … 16人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 余裕を持って登校できるように、遅めの登校時刻を設定している。
- 集団活動に参加しやすいよう、少人数の学級編成を行っている。
- 学び直しや復習などに取り組むことができる「リ・ラーニング」を実施している。
- スクールカウンセラーを週に2日配置し、教育相談体制等を整えている。
- 昼食時には班編成を固定せず、生徒同士の交流ができるよう、配慮している。

教職員配置状況

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ● 校長 | 会計年度任用職員 |
| ● 副校長
(世田谷中学校本校と兼務) | ● 養護教諭 … 1名 |
| ● 正規教員 … 5名 | ● SC … 1名 |
| ● 時間講師 … 6名 | ● 教育支援嘱託員 … 1名 |
| | ● スクールサポートスタッフ … 1名 |
| | 有償ボランティア |
| | ● 学校生活サポーター … 1名 |

大和市立引地台中学校(神奈川県)

学校概要

管理機関	大和市教育委員会
所在地	神奈川県大和市
開校時期	令和4年4月
本校	大和市引地台中学校

特別な教育課程の概要

- 総授業時数を各学年980時間に削減する。
- 総合的な学習の時間および特別活動の時間を削減する。

● 新設の教科「教養科」を実施し、各教科で培った学習の基礎を通して、一般教養を身に付け、将来に向けての社会的自立につなげるための資質・能力を育成する。

● 「教養科」は総合的な学習の時間と特別活動の合科とし、①様々な経験を積んだ講師の話聞き、世の中の動きなどを理解し、幅広い教養を身につけること、②身につけた教養を生かして、自らもっと知ろうとする力をつけ、表現できるようにすること、③生涯にわたって、世の中のことに興味・関心をもてるような態度を養うことを目的とする。

時間割表(令和4年度)					
	月	火	水	木	金
えん(9:15~9:30)					
1 (9:35~10:25)	スポーツ	社会	あーと	社会	数学
2 (10:35~11:25)	英語	英語	スポーツ	数学	社会
3 (11:35~12:25)	数学	理科	技術家庭	英語	国語
昼食 休み(12:25~13:15)					
4 (13:15~14:05)	理科	あーと	探究	スポーツ	英語
5 (14:15~15:05)	国語	国語		理科	道徳
いと(水:14:05~14:15、他:15:05~15:15)					
ネバリの時間(水:~14:45、他:~15:45)					

- ・えん(朝の学活) …朝はみんなて円になって温かい雰囲気スタートしたい思いから『えん』とした。日によって『てん』。雑談重視!
- ・いと(帰りの学活) …『意図』をもって活動し、『経験の糸』を紡いでいこうという思いから『いと』とした。担当教員と学びのデザイン作成。
- ・ネバリの時間(補習的扱い) …粘る&根張るの思いから『ネバリ』とした。主に国語、数学、英語を中心に取り組む。
- ・授業担当以外は個別対応を行う。

在籍対象者

学級編成	第1学年 … 1クラス
	第2学年 … 1クラス
在籍者数	第1学年 … 8人
	第2学年 … 5人
	第3学年 … 9人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 本校(引地台中学校)とは離れているが、柳橋小学校の敷地内である旧理科センターに分教室を設置。小学校とは棟が別であり、校門や昇降口が異なる。柳橋小学校及び引地台中学校保護者に対して、教育委員会から説明会を実施。
- 通常の登校時間を避け、周りを気にせず登校できるように、午前3単位時間、午後1~2単位時間を基本に設定する。
- 補習的な扱いとして、国語、数学、英語を中心に毎日30分程度設定する。

教職員配置状況

- 常勤職員 … 4名
校長・教頭・事務職員・養護教諭は本校兼務
認可免許・複数免許でも補えない教科は本校職員が対応



大和郡山市立郡山北小学校・郡山中学校 分教室「ASU」(奈良県)

学校概要

管理機関	大和郡山市教育委員会
所在地	同市植槻町にあった旧法務局の建物 (市が全面改装)
開校時期	令和5年4月
本校	大和郡山市立 郡山北小学校 大和郡山市立 郡山中学校



特別な教育課程の概要

- 小・中ともに総授業時数の3割程度削減。
- 国語、社会、数学(算数)、音楽、美術(図画工作)、家庭、体育、外国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を削減する。
- 新設の教科「スポーツタイム」において、身体運によるストレス解消、集団活動を通して社会性を身に付ける目的でスポーツ全般を中心とした活動を行う。
- 新設の教科「わくわくタイム」において、体験的な活動や、実技科目の学習内容を中心に行い、生活の基礎となる力の育成を目指す。
- 新設の教科「いきいきタイム」において、音楽や美術(図画工作)などの創作活動や表現活動を行い、豊かな感性の育成を目指す。
- 新設の教科「チャレンジタイム」において、計算問題や漢字等、基礎的な学習に取り組みながら、児童生徒自らが計画を立てることで意欲的な学習を目指す。
- 新設の教科「あゆみタイム」は、自己を見つめる時間として児童生徒が自由に語り合うことを通して、自己・他者理解を深める。

在籍対象者	学級編成	小学校 … 0クラス 中学校 第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 0クラス
	在籍者数	小学校 … 0人 中学校 第1学年 … 1人 第2学年 … 4人 第3学年 … 0人 ※令和5年4月1日時点

不登校生徒等の実態に配慮した工夫

- 国語、数学(算数)については習熟度別のクラス編成を行う。
- 登校できない児童生徒への支援として、ICTの活用や心理学専攻の大学院生等の家庭訪問等を行う。
- 市内の保護者等を交えた、「不登校を語るフォーラム」を開催する。

教職員配置状況

- 常勤教員 … 6名
- 非常勤教員 … 5名
- 非常勤スクールカウンセラー … 3名



三豊市立高瀬中学校(香川県)

学校概要

管理機関	三豊市教育委員会
所在地	三豊市立高瀬中学校
開校時期	令和4年4月
本校	三豊市立高瀬中学校

特別な教育課程の概要

- 三豊市立高瀬中学校夜間学級で行う学びの多様化学校。教室は分かれておらず、授業も夜間学級の生徒とともに受ける。
- 夜間学級の3つあるコースのうち学齢期の生徒(つまりは夜間学級で、学びの多様化学校の教育課程で学ぶ生徒)は、標準コースに所属し、学齢期の学年に対応する学年に籍を置くが、前籍校や保護者との面談、本人の希望や履修状況などを鑑みて、より適した学年の授業を受けることもできる。
- 学びの多様化学校の生徒においては、登校前の0時間目(16:45~17:25)を設定し、週3時間、学齢期生徒だけのための授業を行う。そのうち2時間を「ひなの時間」とし、小学校の学習内容の学び直し等、個に応じた学習支援を行う。学びの多様化学校の生徒のみの時間であるため、より少人数の指導が可能。



在籍対象者	学級編成 (夜間学級)	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 0クラス
	在籍者数 (うち、 学齢期生徒数)	第1学年 … 0人 第2学年 … 1人 第3学年 … 0人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 夜間学級であるため、生徒の体調面や安全面について十分に配慮する。
- 生徒用玄関や靴箱、自転車置き場は昼間部の生徒と別にする。
- 登下校、特に下校は午後9時頃となるため保護者等の送迎とする。
- 定期テストは原則実施しないが、高校進学等を目指す場合は、評価方法を検討のうえ、進路指導に反映させている。
- 学校給食の実施は現在のところなし。
- 幅広い年齢層の学齢経過者が自ら学ぶ姿を目にすることで、相互の違いを知り、自分自身を見つめる機会になるよう、多くの授業を学齢経過者と一緒に学ぶ。

教職員配置状況

夜間学級に配置された教職員による指導を行っている。

- 夜間学級専任教職員 … 14名
(常勤職員8名、非常勤職員6名)

星槎もみじ中学校(北海道)

学校概要

管理機関	学校法人国際学園
所在地	北海道札幌市
開校時期	平成26年4月
本校	



特別な教育課程の概要

- 国語・数学の1単位時間を削減し、新科目「ベーシック」を2時間設定。生徒一人ひとりの学びのペースに合わせた個別学習の時間として実施をする。
- 外国語の1単位時間を削減し、総合的な学習の時間を1単位時間増やして設定。外国語の中の「異文化理解」に関する部分について、他教科との連携も踏まえて総合的な学習の時間を設定している。
- 新科目「SST(ソーシャルスキルトレーニング)」を設置。道徳の中の他者とのかかわりの部分をより重点的に実施。



在籍対象者

学級編成	第1学年 … 3クラス
	第2学年 … 3クラス
在籍者数	第1学年 … 44人
	第2学年 … 57人
	第3学年 … 48人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 遠方からも通いやすい登下校時刻の設定
- 1人1台端末とZOOMによる全授業ハイブリッド実施による学習機会の保障
- その道のプロから学ぶ「カバンに入りきらないセイサの授業」シリーズの実施
- 表現活動を通してコミュニケーションを学ぶ「もみじアートフェス」の実施
- 生徒1人ひとりに合わせた目標を立て、頑張った部分を評価する「個別の指導計画」の作成と運用
- ICT機器を活用して、生徒の成長を保護者と共有する「ステラプラン」の運用
- スクールカウンセラーの常駐による安心感

教職員配置状況

- | | |
|--------------|---------------|
| ● 校長 | ● 養護教諭 … 1名 |
| ● 教頭 | ● SC(常勤) … 1名 |
| ● 常勤教諭 … 13名 | ● 事務員 … 1名 |
| ● 非常勤講師 … 8名 | |



学校法人ろりぽっぴ学園 ろりぽっぴ小学校(宮城県)

学校概要

管理機関	学校法人ろりぽっぴ学園
所在地	宮城県仙台市太白区坪沼長田中9-1 (旧仙台市立坪沼小学校)
開校時期	令和5年4月



特別な教育課程の概要

- 1～3年生と4～6年生の異学年の学級編成にすることで、個別の学習進度に応じて学びやすい環境にしている。
- 総授業時数の削減は、音楽・図工・家庭科・総合の時数を削減し、家庭と連携して削減内容を補っている。それ以外の授業時数は削減せずに授業時数を確保することで、児童一人ひとりの学習進度や学習ペースに合わせて学ぶことが出来るよう配慮している。
- 新設の教科「人間キャリア科」を朝と帰りの時間に15分のモジュールで行い、児童のコミュニケーションスキルの向上を図っている。
- 幼児教育とイェナプラン教育のコンセプトを融合させ、児童一人ひとりの興味・関心に合わせた学びを行い、児童が学習内容を「自己選択・自己決定・自己対応」できるように配慮し、児童の主體的な学びに繋がるようにしている。



在籍対象者	学級編成	第1～3学年 … 1クラス 第4～6学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 1人 第2学年 … 4人 第3学年 … 4人 第4学年 … 3人 第5学年 … 4人 第6学年 … 2人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 通いやすい登下校時刻
- 個別の週計画を作成し、個々の学習進度に応じた学び
- 対話を大切にし、児童・保護者・教師が対等な立場で関われる関係づくり
- 保護者ルームを校内に設置するなど、児童も保護者も安心できる環境づくり

教職員配置状況

- | | | | |
|--------------|------|---|------|
| ● 校長 | … 1人 | ● 養護教諭 (非常勤) | … 1人 |
| ● 教頭 | | ● スクールカウンセラー (常勤) | … 1人 |
| ● 常勤教員 | … 7人 | ● 地元採用枠 (技師3人(非常勤)、バス運転手2人(非常勤)、バス添乗員2人(非常勤)) | … 7人 |
| ● 非常勤講師 | … 2人 | | |
| ● 学校事務 (非常勤) | … 1人 | | |

東京シューレ葛飾中学校(東京都)

学校概要

管理機関	学校法人東京シューレ学園
所在地	東京都葛飾区
開校時期	平成19年4月

特別な教育課程の概要

- 授業時間を国社数理英40分、音美体60分、技家80分で構成。
- 道徳及び特別活動の時間を統合し、コミュニケーションタイムを新設。
- 体験的な活動を充実させるため、総合的な学習の時間を多くとっている。ひとつは「いろいろタイム」で、木曜日1日を通したプログラムとなっており、様々な文化に触れたり、実際に取り組んだりする機会として設定している。
- 総合的な学習の時間のもう一つとして「プロジェクト」の時間を100分設定し、得意なことや興味・関心に基づいてテーマを設定・選択し探究的な学習を行っている。
- 選択教科の時間を週1回設け、国社数理英から、各自が選択して取り組む。

	月	火	水	木	金
9:45	漢字タイム	計算ライティング	漢字タイム	計算ライティング	漢字タイム
9:50					
10:30	個別学習	日本語	社会	いろいろタイム	理科
10:40					
11:20	英語	美術	技術・家庭		英語
11:30					
12:10	数学				日本語
			お昼休み		
13:00	理科	社会	数学	いろいろタイム	プロジェクト
13:40					
13:50	スポーツ	コミュニケーションタイム	音楽		
14:50					
15:00	それ活	それ活	下校	それ活	フリータイム
16:30			下校		

● ホーム授業 ● 学年別授業 ● 体験プログラム



在籍対象者

学級編成

学年混合の集団「ホーム」を4つ編成(下記も参照)

在籍者数

第1学年 … 34人
第2学年 … 34人
第3学年 … 45人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 登校時刻、授業時数等、授業時間等、生徒の負担を減らして通いやすい設定にしている。
- 複数担任を配置し、個別対応や複数視点での関係性づくりをできるようにしている。
- 学校での生活単位を「ホーム」として、異なる学年・入学転入時期なども混合で編成して、生徒同士でも多様な関係を作れるように工夫している。
- 登校しても授業に参加しづらい子の居場所になるスペースを、校内各所に設け、職員を配置している。

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 12名
- 各教科担当・養護に加えて、常勤スクールソーシャルワーカーを2名配置。



NHK学園高等学校(ライフデザインコース)(東京都ほか)

学校概要

管理機関	学校法人NHK学園
所在地	東京都国立市富士見台2-36-2
開校時期	平成20年4月(当コースの設置)

在籍対象者	学級編成	第1学年 …東京本校:2クラス 各地区:1クラス 第2学年 …東京本校:2クラス 各地区:1クラス 第3学年 …東京本校:2クラス 各地区:1クラス
	在籍者数	東京本校…104人 北海道…18人 東北(盛岡)…19人 東北(仙台)…15人 中部…27人 近畿…38人 中国四国…11人 九州…23人 ※令和5年4月1日時点 地区(会場)ごと各学年の合計

特別な教育課程の概要

- 卒業単位数は74単位で、通常の教育課程(スタンダードコース)と同様である。
- 必修科目として独自の学校設定科目(生活実習、総合セッション、職業技術)を配置している。「生活実習」では、ものづくりや日常生活の活動などについて、興味を持って取り組んだ実践の報告を行う。「総合セッション」では、自己理解や自己表現のスキルを学び、課題や作業に取り組み、コミュニケーション力を育む。「職業技術」では、卒業後の可能性を広げるため、芸術や商業、情報などの分野の学習を通じて将来に役立つ技術を習得する。、教科指導を行う。
- 一般教科・科目の面接指導は、年間に各1回(30分)とし、特に1年次の登校のハードルを下げている。独自科目の履修等を通じて、年次が進むにつれ、徐々に登校日数を増やしていくようなカリキュラム設定となっている。
- 体育に苦手意識を持つ生徒が多いことから、1年次では履修せず、2年次・3年次の2年間で5単位を履修する。
- 芸術科目は必修としていない(希望より選択することは可)。



不登校生徒等の実態に配慮した工夫

- 面接指導へスムーズに参加できるように、その準備として定期的なネットホームルームや教科のネット授業など、双方向の指導を行っている。
- 教室への入室が困難な生徒が多いことから、面接指導については保護者の入室、同伴を認めている。
- 保護者に対しては、保護者会や心の相談医による学習会を通して生徒理解を促している。
- 年度末試験では、生徒の状況に応じて別室を設けて受験できるような配慮を行っている。
- 入学時の面接では保護者とも面談し、保護者にも学習内容やコースの教育方針を理解してもらっている。



教職員配置状況(東京本校)

校長、副校長(4名)、教頭、専任部長(コース担当管理職)、専任教員(コース統括1名、クラス担任6名)、専任教員・非常勤教員(教科指導 複数名)、養護教諭、SC、SSW

東京シューレ江戸川小学校(東京都)

学校概要

管理機関	学校法人東京シューレ学園
所在地	東京都江戸川区
開校時期	令和2年4月



特別な教育課程の概要

- 総授業時数を削減し(小3から小6は年間735時間)子どもの負担感を軽減するとともに、教員もゆとりをもって子どもに寄り添う時間を確保できる。
- 新設の教科「いろいろタイム」を週2時間設定し、様々な体験的な活動から楽しく、主体的に学んでいく。
- 道徳と特活を統合した「コミュニケーションタイム」を週1時間設定し、意見を出し合って安心して過ごせる学校づくりや行事づくりに参画したり、話し合いながら学校生活上の諸問題を解決していく。



在籍対象者	学級編成	学年混合の集団「ホーム」を4つ編成(下記も参照)
	在籍者数	第3学年 … 6人 第4学年 … 11人 第5学年 … 12人 第6学年 … 17人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 遠方から通ってくる子どもも多いため通いやすい登下校時刻を設定、授業時数も削減し子どもの負担感を軽減している。
- 1人1台端末のAIドリルやオンラインアプリを活用し、学習機会の保障につながるようにしている。
- 異学年混合のクラス編成を行うことで、子ども同士の多様な関係をつくれるように工夫している。
- 登校しても授業に参加しづらい子どもの学習や居場所になる教室を設け、教員を配置している。
- 保護者の不登校への理解も重要と考え、月1回の保護者会のほか、保護者学習会、講師を招いた講演会を開催している。
- 家庭で過ごすことが多い子どもに対して、月に1回の子ども同士が交流する機会を設けている。
- 遠方から通ってくる子どもの送迎や、親から離れることに不安を感じる子どもの帰り待つ保護者のための部屋を設置。

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 8名
- サポートスタッフ … 1名
- 非常勤職員 … 2名

星槎中学校(神奈川県)

学校概要

設置者	学校法人 星槎
所在地	神奈川県横浜市
開校時期	平成17年4月



特別な教育課程の概要

- 「学校設定教科」として「バイシク」、「SST」を設定している。
- 「個別の指導計画 (Individualized Education Program 以下 IEP という)」に基づき、生徒一人ひとりが1日の取り組みを教員と毎日振り返る時間を設けている。
※個別指導計画作成運用システム『STELLAR PLAN』の活用
- 始業時間への配慮 起立性調節障害の生徒でも遅刻という心理的負担を感じずに済むよう、時間割の始業時間を遅らせるが、2期制にすることにより、授業時間の確保に努めている。
- 生徒がより充実した学校生活を送るため、年に4回の生徒面談・保護者面談を実施している。
- インターネット等の活用(オンライン授業を含む) 不登校が続く欠席が長期化する傾向にあると判断される生徒については、保護者と協議の上インターネット等の情報通信技術を活用した方法による学習支援を認める。



在籍対象者

学級編成	第1学年 … 5クラス
	第2学年 … 5クラス
在籍者数	第1学年 … 150人
	第2学年 … 135人
	第3学年 … 120人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- タブレット等を使い、視覚的支援で学習の理解を深め、登校が出来ない際に通級指導教室や自宅から授業に参加できる。
- 教科書だけに頼らず、生徒の学習進捗状況にあわせた手作りのワークシートを全授業で使用。必要に応じルビ(読みがな)を振り、同じ科目でも習熟度毎に異なるワークシートを使用。
- 各学年習熟度別の授業を実施。全学年、多くの教科で5段階の習熟度別授業を実施。
- 欠席時に安心して授業参加できるよう、ネット上で授業内容の確認が可能。

教職員配置状況

- 校長(星槎高校と兼務)
- 副校長
- 教頭
- 常勤教諭 … 36名
- 準常勤職員 … 2名
- 非常勤教員 … 14名
- SC … 2名

※生徒一人一人の認知特性に応じた指導を行うため、全教諭が支援教育カウンセラー資格を取得



星槎高等学校(神奈川県)

学校概要

設置者	学校法人 星槎
所在地	神奈川県横浜市旭区若葉台4-35-1
開校時期	平成18年4月



特別な教育課程の概要

- 総授業時数の削減は行わない。
- 学校設定教科として「星槎の時間」「SST」を設定している。
- 「個別の指導計画(Individualized Education Program(IEP))」に基づき、生徒一人ひとりが1日の取り組みを教員と毎日振り返る時間を設けている。

※個別指導計画作成運用システム「STELLAR PLAN」の活用

- 始業時間への配慮 起立性調節障害の生徒でも遅刻という心理的負担を感じずに済むよう、時間割の始業時間を遅らせるが、2期制にすることにより、授業時間の確保に努めている。
- 「キャリアコース」の設置 キャリアコースには、さらに食生活・工業、食生活・農業、農業・工業の3クラスに分けている。
- インターネット等の活用(オンライン授業を含む) 不登校が続く欠席が長期化する傾向にあると判断される生徒については、保護者と協議の上インターネット等の情報通信技術(ICT)を活用した方法による学習支援を認めている。



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 6クラス 第2学年 … 5クラス 第3学年 … 5クラス
	在籍者数	第1学年 … 153人 第2学年 … 126人 第3学年 … 117人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 学習の理解を深めるため、視覚的支援としてタブレット等を使用。登校が出来ない際に通級指導教室や自宅から授業に参加が可能。
- 教科書だけに頼らず、生徒の学習進捗状況にあわせた手作りのワークシートを全授業で使用。必要に応じルビ(読みがな)を振り、同じ科目でも習熟度毎に異なるワークシートを使用。
- 各学年習熟度別の授業を実施。例として1学年の国数英では9クラスの少人数習熟度別授業を実施。



教職員配置状況


- 校長(星槎中学校と兼務)
- 副校長
- 教頭
- 常勤教諭 … 35名
- 非常勤教員 … 7名
- SC … 2名

※生徒一人一人の認知特性に応じた指導を行うため、全教諭が支援教育カウンセラー資格を取得



西濃学園中学校(岐阜県)

学校概要

管理機関	学校法人西濃学園
所在地	岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山1070
開校時期	平成29年4月
本校	

特別な教育課程の概要

- 総授業時数において削減はないが、社会的自立を目指すために必要と考えた以下の時間を設けている。
- 「コラボレイト」では地域の方々とボランティア活動や伝統行事など様々な体験活動を行ったり、学園のある藤橋という地域について縦割りのグループの協働を通し、社会の中で自分らしく豊かに生きることを学ぶ。
- 「ライフ・プランニング」では、自己理解と他者理解とコミュニケーションについて体験的に学ぶ。
- 「リカバリー」では国語・数学・英語を中心に学び足りないところを補ったり、検定に向けて学習する。



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 14人 第2学年 … 8人 第3学年 … 12人 ※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 寮が併設されており、①規則正しい生活リズムを作りたい②ネットやゲームとの付き合い方を考えたい③家族と適切な距離を作りたい④同世代の深く付き合える友人・仲間を作りたい、などといった様々な理由から親元を離れ、自立を目指した生活・学習をすることができる。
- 地域と共に在る学校を目指し、生徒たちは地域の方々の生きる力から学び、また地域の伝統文化や行事の担い手として社会的役割を体験することができる。
- 全生徒がカウンセリングを受け、さまざまな自己の課題に予防的に取り組み、また自己理解・他者理解を深める。
- 卒業後の社会的自立を目指し、「10のスキル」という名称で非認知能力を育て伸ばす教育やかかわりを大切にしている。

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 15人
 - 非常勤職員 … 3人
(週2～3時間)
- ※常勤教職員に常勤SC2人を含む



星槎名古屋中学校(愛知県)

学校概要

所在地	愛知県名古屋市中村区名駅南4-6-38
開校時期	平成24年4月開校
本校	星槎名古屋中学校

特別な教育課程の概要

- 6時間目に個別学習の時間を設け、ICT教材等を使用し学び直しをしている。
- ゼミ授業(総合的な学習の時間内に位置づけ)を隔週で実施し、様々なジャンルに分けた分野でALやPBLに沿った主体的・能動的な学びを展開。
- 不安を和らげ、成長を促す絵画講習の実施。
- 日々の授業をオンライン授業。
- SSTの授業を週1回実施。



在籍対象者

学級編成	第1学年	…	3クラス
	第2学年	…	3クラス
	第3学年	…	4クラス
在籍者数	第1学年	…	85人
	第2学年	…	81人
	第3学年	…	105人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 通いやすい登下校時刻の設定
- 1人1台端末のAIDリル等を活用した学習機会の保障
- 指定制服と私服の併用登校
- 心の安定を図るための部屋、ステップアップルームの設置
- 個別支援計画の作成・運用
- 生徒ファーストを追求した「学年担任制」
- 生徒の中の先生役制度「ピアチューター」制度の導入
- 「支援教育カウンセラー」の資格を活用した、職員みんながカウンセラー
- 合理的配慮を実践した個々に合わせた試験方法(タイピング、ルビ、時間延長、別室、音声読み上げ、拡大)

教職員配置状況

- 校長
- 教頭
- 事務長
- 教諭 … 23名
- 準常勤教員 … 4名
- 非常勤教員 … 10名



学校法人 日章学園 鹿児島城西高等学校(鹿児島県)

学校概要

管理機関	学校法人 日章学園
所在地	鹿児島県日置市伊集院町清藤1938番地
開校時期	平成18年4月
本校	鹿児島城西高等学校

令和5年 日章学園 スローガン **継続は力なり**

特別な教育課程の概要

- 独自の教育課程を編成し、授業を行います。
- 小学校・中学校の基礎・基本から学び直し、高校の学力が身に付く教育課程を編成しています。
- 特色ある学校設定科目として、総合演習、産業社会と人間、進路研究、課題研究などを設定し、総合演習のリラクゼーションの授業では心身の癒しを身に付け、テーブルマジックの授業ではコミュニケーション能力を高めることができます。
- 自宅学習支援型(一部通信制)による単位取得は、対象教科において3年間で35単位まで取ることができます。

正門から見た校舎風景 >>

校時表	時	間
SHR	8:35	8:45
1時間目	8:55	9:45
2時間目	9:55	10:45
3時間目	10:55	11:45
4時間目	11:55	12:45
昼食・昼休み	12:45	13:30
作業	13:30	13:45
5時間目	13:50	14:40
6時間目	14:50	15:40
SHR	15:45	15:55
SB発車	16:10	



在籍対象者	学級編成	第1学年 … 1クラス 第2学年 … 1クラス 第3学年 … 1クラス
	在籍者数	第1学年 … 18人 第2学年 … 18人 第3学年 … 14人

※令和5年4月1日時点

不登校生徒等への実態に配慮した工夫

- 生徒が校舎に入りやすいようにドリームコース独自の玄関を設けています。
- コース独自の行事として、社会見学学習、スポーツ交流、施設交流があります。施設交流では、普段学んでいるマジックを社会福祉施設等を訪問し、披露しています。
- 欠席や欠課の多い生徒には、長期休業中に補充指導を行い、単位取得し、進級・卒業できるように援助しています。
- 各教科の履修や単位取得が、他の学科やコースに比べて多少緩和されています。

教職員配置状況

- 常勤教職員 … 77名
- ドリームコース教職員 … 6名
- 非常勤教職員 … 62名
- スクールカウンセラー … 2名
- スクール
ソーシャルワーカー … 2名



マジックの授業 >

鹿児島城西高等学校ホームページから、本校ドリームコースの教育活動の様子を御覧いただけます。